

科目名称：	保育内容「人間関係」の指導法	
担当者名：	上野 幸子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
平成29年度告示の3法令改訂・改定における要点をふまえながら、人間関係とは何か、それを構成する要素、手段を具体的に学び、それぞれの獲得時期を幼児の発達段階に応じて理解し、実践する方法を身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
領域「人間関係」の内容について理解を深めるとともに「保育士に求められる人間関係とは何か」ということや、担当する子どもたちとのコミュニケーションを円滑に行うためのスキル、実践のために必要な保育の場での具体的な方略等を学ぶ。特別な支援の必要な子どもたちに対する対応については、その特性を正しく理解し、それをベースにした具体的な手立ての必要性を理解する。グループワークやロールプレイの活動を通し、事例対応を模擬事例で学ぶとともに、学生同士で問題解決を共有し協働する意味を学ぶ。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)		60	15	25	100
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》子育て支援講座として、保育園で保育士陪席の形式で保護者にペアレントトレーニングを年2回実施	《経験年数1》4年
	《内容2》保育士を対象としたティーチャーズトレーニングと、参加者が提供した事例検討のファシリテーター	《経験年数2》3年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 人間関係とは何か	授業で取り上げた事例について、プリントの該当する部分を検討し記入する。	40分
第2回 領域としての「人間関係」 グループワーク	教科書と参考資料の「人間関係」部分を学習し、配布したプリントをまとめる	40分
第3回 人間関係のねらい グループワーク	教科書と参考資料の「人間関係のねらい」部分を学習し、配布したプリントをまとめる	40分
第4回 人間関係の内容 ロールプレイ	教科書と参考資料の「人間関係の内容」部分を学習し、配布したプリントをまとめる	40分
第5回 人間関係の特性 「社会的行動の発達1歳まで」	1歳までの身体的・社会的発達について、配布プリントに沿って自己学習し空欄を埋める	50分
第6回 人間関係の特性 「社会的行動の発達1歳から」	2歳から7歳までの身体的・社会的発達について、配布プリントに沿って自己学習し空欄を埋める	60分
第7回 子どもの発達と遊び 「パーテンの遊び」	教科書の当該部分を読み、提示した遊びについての課題を考察しておく	40分
第8回 コミュニケーションとは何か ロールプレイ	配布資料を読み、コミュニケーションについて考えをまとめておく	40分
第9回 人との関わりの育ちを見る視点について・1回目演習問題実施	事前に提示した小テスト範囲を復習しておく	90分
第10回 遊びと人間関係について考える・事例に沿ったグループワーク (ICTの活用)	教科書の「遊び」部分を学習し、事例について考える	40分
第11回 人間関係における問題行動について グループワーク	仮想事例について、配布プリントに沿って考えをまとめ記入する	50分
第12回 様々な特性を持つ子どもとのかかわり	教科書を読み、様々な特性について概要をまとめる	40分
第13回 人間関係における問題行動 グループワーク+ロールプレイ	自分のグループが選択した事例について、子どもや保育士等の行動を抜き出し時系列で整理しておく	40分
第14回 自閉症の理解と、その特性を持つ子どもへの対応 自閉症体験ワークショップ	前回のグループワークを基に、配布プリントをまとめる	50分
第15回 まとめ・第2回演習問題実施	事前に提示した小テスト範囲を復習しておく	90分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
演習問題×2 (60%) グループワークの参加態度・グループへの貢献度 (10%)
毎回授業後に提出するフィードバックの評価 (15%)、授業内容への積極的なアプローチ・挙手による自発的発言行動への評価 (15%)

課題に対するフィードバック

毎回授業後に提出するフィードバックは、小レポートとして内容を評価し次回に返却する。最終授業で実施する第2回演習問題の答えは、希望があれば返却する。

教科書・参考書

テキスト 「実践保育内容シリーズ 人間関係」 (小櫃智子・谷口明子編著、一藝社)
参考書・参考資料等
「保育内容「人間関係」」 (森上史朗 編著、ミネルヴァ書房) 「人間関係」 (無藤隆 著、萌文書林)
「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」